

○市民意見を踏まえた中間案からの修正箇所

項目	ページ	修正前	修正後
1	P 42 6行目～	この先多くの職員の退職が見込まれるため、水道事業を支える技術力の維持・向上が重要な課題となっていますが、 <u>組織体制の見直しも図りつつ、計画的かつ包括的な人材の育成に取り組んでいきます。</u>	この先多くの職員の退職が見込まれるため、水道事業を支える技術力の維持・向上が重要な課題となっていますが、 <u>組織体制の見直しも図りつつ、他都市の事例を参考としながら、長期的な視点で計画的かつ包括的な人材の育成に取り組んでいきます。</u>
2	P 46 2行目～	そのため、 <u>東日本大震災以降は、町内会などの地域コミュニティや、地理的に同時被災のリスクが少ない大都市水道事業体、（公財）仙台市水道サービス公社や検針業務受託業者などの民間事業者との連携による災害時対応の充実を図ってきました。</u>	そのため、 <u>東日本大震災以降は、BCP（業務継続計画）を策定したほか、町内会などの地域コミュニティや、地理的に同時被災のリスクが少ない大都市水道事業体、（公財）仙台市水道サービス公社や検針業務受託業者などの民間事業者との連携による災害時対応の充実を図ってきました。</u>

○今後、追加する事項

項目	ページ	修正前	修正後
1	P 53		<u>令和2年度予算を反映した、今後10年間の財政収支見通し（表）を追加</u>